

駐日教皇大使チェノットウ大司教 帰天

駐日ローマ教皇庁大使ジョセフ・チェノットウ (Joseph Chennoth) 大司教が2020年9月8日(火)午前1時29分、入院先の東京・聖母病院で帰天した。駐日教皇大使として来日してから約9年、享年76。追悼ミサが9月17日(木)、東京カテドラル聖マリア大聖堂で行われた。

チェノットウ大司教は、日本の教会の福音宣教のために尽力し、福岡教区にも2015年5月熊本地震被災地、同年11月神学院祭、2017年2月今村教会信徒発見150周年など、足を運んだ。



(上) 2015年5月、熊本地震被災地、西原村の仮設住宅を訪問した際に被災者から握手を求められて応える
(左) 2015年神学院祭にて

ジョセフ・チェノットウ大司教の思い出

ヨゼフ・アベイヤ司教

9月8日に駐日ローマ教皇庁大使ジョセフ・チェノットウ大司教は天に召されたのです。2011年から日本でのチェノットウ大司教の働きを感謝し、天の父が報いてくださるよう祈ります。

私は、チェノットウ大司教様と初めて出会ったのはタンザニアでした。当時クラレチアン会の総長だった私は、ダル・エス・サラムを訪れていました。チェノットウ大司教様と話し合っているうちに、彼の温かさと福音宣教の熱意を感じました。何年間が経って、また、日本で会いました。チェノットウ大司教にバチカン大使館に呼ばれて大阪の補佐司教の任命を告げられました。タンザニアでの出会いを懐かしく思い出しました。

後で何回もあったのですが、いつも彼の温かさと福音宣教の熱意を感じました。

福岡教区を訪れてくださったチェノット大司教の思い出が、私たちの全世界の教会との一致、また、教皇様への尊敬と従順を強めますように。

使命に対する自覚

10月18日の「世界宣教の日」にあたり、ヨゼフ・アベイヤ司教からのメッセージが発表された。2020年「世界宣教の日」教皇メッセージ「わたしがここにおります。わたしを遣わしてください」に沿って、教区民一人ひとりに宣教の使命が与えられていることを説いている。

ページに掲載。

このイザヤのことは、神様の問いかけへの応えです。「誰を遣わすべきか」(イザヤ6・8)。すべての人々に御自分のことを届けたい神様の望みを表し、すべての人々の歩みを支えたい神様の愛を示すことばです。

コロナでも消えない 宣教への呼びかけ

新型コロナウィルスの対策に気を取られてしまつて、教会の存在理由である福音宣教

呼びかけに応えるため に霊性を深める

ただ、神様の呼びかけに応えるためにわたしたちは、自分自身のうちにしっかりとみことばを受け止め、自分自身

の様々な活動(入門講座、病人訪問、社会活動、青少年の

「キリストの愛に駆り立てられて」

10月18日「世界宣教の日」アベイヤ司教メッセージ

の生き方を支えてくださっている神様の愛を深く味わう必要があります。

「出向いて行く教会」を望んでおられる教皇フランシスコは、2018年3月19日に「喜びに喜べ」という文書を発表し、すべての人が聖性(神様と深い交わり)に招かれて

「出向いて行く教会」と「皆が聖性に招かれている」ことは一見、活動と霊性という別の

心の中に福音の火が燃えていなければ、わたしたちの生き方は福音を伝えられないでし

こういう意味で、福音宣教の様々な活動(入門講座、病人訪問、社会活動、青少年の

教皇様の意向のために祈りましょう

【福音宣教】教会における

信徒のミッション

【日本の教会】医療や科学に携わる人々

10月の意向

時の話題

ロザリオの聖母に 導かれて

私は、山鹿の自然豊かな古民家で、画廊「ガッレリア・アッシジ」を営んでおり、夫は油絵、私は版画を制作しています。

3年前、

引越して来てすぐは、裏庭が手の付けられないほど

の藪でし。来る日も来る日も片付けて、ある日や

と樹木が見えてきてから、私はここを「ロザリオの森」

にしよう!となぜか思い立ちます。しばらくして、思

いがけず石のマリア様を頂くことになり、竹林は整い、八朔の木は美しい実をつけ、やがて緑に包まれるほどの美しい庭になり、整いました。しかし、私のロザリオの祈りは依然中途半端で、頭に玄義を浮かべることもできません。ロザリオの森と名付けても、その祈りをできなくては、いつまで経っても森は未完のままでしょう!と声がどこからか聞こえて来そうです。

それでも、「なるようになるさ」くらいに考えていると、突然に依頼の仕事が舞い込んできます。ロザリオの玄義20場面を版画で!という内容。自身がその祈りも完璧にできないので随分と悩みました。それでも、最初の受胎告知の場面だけは描いてみよう!と制作していると、マリア様の「この身になりますように」(「ミゼリコルディア」)が心の内に響いてきました。そもそも、私はなぜロザリオの森をつくりたいと思っただのか?考え巡らしてみても今では思い出せません。お導きがあったのでしょうか。であれば、行くことは唯一つ。マリア様に倣い、謙虚に「ミゼ」み心に適った働きが出来ますように!と祈ること、それだけです。ロザリオに学び導かれて、私の歩みは始まったばかりです。

た。それでも、最初の受胎告知の場面だけは描いてみよう!と制作していると、マリア様の「この身になりますように」(「ミゼリコルディア」)が心の内に響いてきました。そもそも、私はなぜロザリオの森をつくりたいと思っただのか?考え巡らしてみても今では思い出せません。お導きがあったのでしょうか。であれば、行くことは唯一つ。マリア様に倣い、謙虚に「ミゼ」み心に適った働きが出来ますように!と祈ること、それだけです。ロザリオに学び導かれて、私の歩みは始まったばかりです。

みちくさ

2020年九州豪雨、台風9・10号 全国からの寄付を必要とするへ

7月3日の九州豪雨災害のために呼びかけられた募金に、全国各地から約950件、総額5千万円を超える支援が寄せられた(2020年9月20日現在、募金は8月末で受付を終了)。教区災害被災者支援室では寄せられた募金が、被災者と被災施設に届くように調整を行っている。

が届いている。

福岡教区災害被災者支援室(責任者)青木悟神父、以下、支援室は「2020年九州豪雨義援金申請書」(2020年九州豪雨被災施設支援金申請書)を7月下旬、教区内の教会、カトリック関係施設に

送付。申請のあったものから順次受付支援を行っている。(現在も受付中。4面に詳細。)被災者からは「思いもよらぬ被害に今後の事を考える余裕もなかった時に、救いの手を差し伸べてくださり、一すじの光が見えたと思います」「初めは正直、(義援金を)頂いていいのだろうかと思いましたが、今回の災害では全国からの物資や励ましのお言葉に出会えました。すべて神さまからの愛だと感じ、受け止めています」などのお礼の言葉

が届いている。ヨゼフ・アベイヤ司教は教区内の司祭宛の手紙で「多くの人々の協力に感謝しています」と述べ、全国からの寄付を必要とするところへ届けるために、主任司祭や教会委員会の代表者たちには、「被害を受けた方々のところへ出向いて、遠慮せずに義援金を申請するように勧めてほしいと呼びかける。また、「カトリック信徒でなくても、自分の身近な人々のうちに被害を受けた人がいれば」小教区を通して支援につなげてほしいと語る。

台風9号、10号によって被害を受けた教会施設もあり、支援室は「被害を受けた方は、お申し出ください。できるだけ支援を行いたい」と語る。

カトリック福岡教区司教
+ヨゼフ アベイヤ

コロナ禍で苦難を強いられている中、希望と喜びの司教着座式が5月に行われた。新司教の着座は信者に安心感を与え、これからの教区の歩みに期待を持たせた。新司教は、「共に」という言葉を大切に、すぐさま動き出した。熱い宣教魂が揺り動かしたものと思えるが、ある時は長時間を徒歩で、ある所には長時間電車に揺られてなど枚挙に暇がない。各小教区の信者は喜んで迎え、飲食は共にしなくても好んで接した。恐らく、「新しい指導者に近づきたい、声を聞きたい」という気持ちの現われであろう。司教ご本人は、神のみ旨を果したいというお気持ちの様だ。その姿はまるで、「一人の子は枕する所もない」(マタイ8章20節)と言いつつ、福音宣教に勤しんだイエスの様だ。顔も知らない人々との出会いで、お互いに知り合うことを大切に考え、お互いが集うだけではなく、神から「福音を述べ伝えるために派遣されている」ことを確認するため、そして、御父に向かって「共に歩んでいる」ことを実感するためと考えられる。司祭達もその姿に刺激を受けているようだ。どんな状態にあってもイエスのお考えを探り、それにあった福音宣教が望まれる。▼コロナ感染拡大の再来が恐怖をもたらす中、喜びと希望の司祭叙階式が7月に行われた。限られた人達の前で、司教より言葉と聖香油と按手を受け、新しい司祭が誕生した。本人のみならず、支えてきた家族や関係者の喜びはいかほどであったろうか。これから期待を背負って、イエスの福音宣教に励むことになる。一層の祈りが要る。(S)

教区養成教化委員会企画 オンライン養成 9月1日～11月30日

コロナ禍の中にこそ すべてのいのちを守る ～教皇フランシスコと共に考え、実践するために～

9月1日から11月30日まで、教区養成教化委員会の企画で、フランシスコ教皇訪日の際に使われたメッセージ「すべてのいのちを守る」をさらに考え、その理解を深めるために、教区ホームページ上で資料が提供されています。毎週火曜日更新されます。

初めの5回のテーマは下記の通りです。

- ① 「被造物を大切に世界祈願日」にあたり
- ② 自然と人間に対する心構え（気遣い）
- ③ ゴミ問題に対する観点
- ④ 具体化のために、心構えを育てる
- ⑤ 社会問題と向き合うときのキリスト教的基準とは？

オンライン養成特設サイト⇒

<http://fukuoka.catholic.jp/dedicated/protectalllife-formation/>



こちらのQRコードからアクセスできます↑

また、インターネットに接続できない方のために、毎週A4一枚で配布できる資料も準備しています。必要な方は所属小教区または教区本部事務局広報室にお問合せ下さい。



山鹿教会の信徒たちと記念撮影

島の子供たちと共同体を祈りに招いた。ミサ後の信徒との対話のひと時でも、司教は「人数に関係なく、信仰を持つ喜びの実感を持つていてほしい」と共同体を鼓舞した。信徒の代表が「次回は食事を交えてゆっくりと楽しいひと時を過ごしたい」と述べたのに対して、司教は「是非、約束ですよ」と笑顔で答えた。

8月15日(土) 聖母被昇天の祝日の午後、小さな巡回教会である山鹿教会(主任II D・シルバノ神父/聖ザベリ才宣教会)をアベイヤ司教は訪れた。

山鹿巡回教会(熊本)



母国語のスペイン語で談笑する

た。ミサ開始前にアベイヤ司教は集った人々に「互いに自己紹介をしましょう」と呼びかけた。在日ペルー人の信徒たちはスペイン語で自由に司教と会話ができることが嬉しかったようで、笑い声が絶えなかった。

ミサ説教でアベイヤ司教は長崎原爆の日にも触れ、「平和のために祈るとは、人の痛みを感じることであり、本気の祈りは自己変容へとつながる」と力強く語った。

て、誰も沈黙することなく皆が日頃の身近な地域や社会や家庭での行いや出会い、経験、思いや疑問などを話すことができた。全てを聞き終えた司教は「皆さんが今されていること、それが福音宣教です」と一言。この言葉に信徒一同は一瞬驚き、そして安堵し、勇気づけられた。

☆教理省書簡「サマリタヌ・ボヌス」を発表
教皇庁教理省は、9月22日、生命倫理をめぐる書簡「サマリタヌ・ボヌス」を発表した。「重篤段階および終末期にある患者の治療」をテーマにしたこの書簡は、あらゆる形の自殺ほう助に反対すると共に、家族と医療従事者に対する支援の必要を説いている。

計報

クララ滝谷 京子 修道士
(マリアの宣教師フランシスコ修道会)
8月5日帰天。享年97。修道生活69年でした。

マリア・アスタ
浦本 キヌヨ 修道士
(シトー会伊万里の聖母修道院)
8月9日帰天。享年73。誓願生活12年でした。

アニーゼ
宮脇 窈子 修道士
(カッサ修道女会大牟田修道院)
8月10日帰天。享年83。修道生活56年でした。

ベルナデッタ
黒木 紗耶子 修道士
(シヨファイユの幼きイエス修道会)
8月27日帰天。享年89。

マリア・アグネス
河野 道子 修道士
(シヨファイユの幼きイエス修道会)
8月28日帰天。享年94。

フィロメナ
中村 シゲ子 修道士
(マリアの宣教師フランシスコ修道会)
9月2日帰天。享年94。修道生活70年でした。



新型コロナウイルスの感染の終息をお祈りしております。

「光を造り、闇を創造し
平和をもたらす、災いを創造する者。
わたしが主、これらのことをするものである。」
旧約聖書 イザヤ書 45章7節

カトリック御受難修道会・福岡黙想の家
811-4155 宗像市名残1056-1 Tel 0940-32-3222 (9:30~16:30)
Fax 0940-32-3385 Eメール f-mokuso@fmokuso.com



痛みの相談室 いくま整骨院

受付時間 平日: 9:30 ~ 12:00
14:30 ~ 20:00
土曜: 9:30 ~ 15:00
休診: 日曜・祝祭日
福岡市西区姪浜駅南1-7-12-2F
Tel 092-884-0134
ペトロ 生熊吉

草苑

カトリックのご葬儀
互助会制度もご利用できます。
木下株式会社
TEL 092-526-5656
〒810-0016
福岡市中央区平和3丁目1-5

伊万里カトリック幼稚園 晴れて創立50周年を祝う



園児と教職員で50周年の記念撮影

伊万里カトリック幼稚園は1971年、宗教法人福岡司教区平田三郎司教により佐賀県伊万里の地に設立された。初代園長はミラノ外国宣教会のフランシスコ・サルディ神父。以来、4人のイタリア人神父が2014年まで園長を歴任した。1997年から学校法人佐賀カトリック学園となった。当初から今日に至るまで、平田敬神父が理事長としてこの学園を導いている。

2014年からはストリゼウスキー・リチャード園長(神言修道会司祭)の下、1990年に建築された2階建ての園舎と広い園庭で子どもたちはのびのび過ごしている。「元気・明るい・優しい」教職員が一丸となり、50年目の今日を過ごすことができるのも約2500人の卒園生や保護者、ここまで繋いでくれた教職員の支えの賜物であるとし感謝したい。これからも、この地で貢献できる市内唯一のカトリック幼稚園としての役割を果たしていけるよう頑張ります。

引き続き、皆様のお祈りとご指導ご鞭撻の程をよろしくお願いいたします。

(報告=伊万里カトリック幼稚園)



(上) 福島の子供たちからのハガキ
(下) 福島の家族に送ったカードとラーメン

「福島家族支援 博多にきんしやくい」は9年目を迎える。この方向性を再確認し、合った矢先に、世界中を揺るがす新型コロナウイルス感染症が驚異的に拡大し始めた。自粛要請される中、教会も「人の命を最優先する」ことでミサや集会が中止となった。今夏8月、恒例だった「博多にきんしやくい」も中止。交流先「カリタス南相馬」子どものつばさも同意。こうした状況に私たちは「鬱々としたこの時下にも何かできる事を考え希望に繋げて行きたい」と話し合った。

早速、初回から作年迄に交流してきた70家族(福島県内外の被災者、熊本地震被災外国人)にエールカードを贈る事にした。協力者である司祭、(報告)実行委員 平野道子

熊本被災地支援 NPO阿蘇のお米実る

熊本地震から4年、教区災害被災者支援室では被災者支援の一環として、熊本県阿蘇郡西原村の支援をNPO阿蘇を通じて行っている。今年は新型コロナウイルス感染症の影響で交流を目的とした田植えや稲刈りを行うことはできなかった。

NPO阿蘇代表の加藤義明さんによると「今年は7月の長梅雨で生育が遅れていましたが、8月の猛暑で持ち直し、台風の影響も少なく、順調に育っています」とのこと。近日中に教区内でお米購入の支援のよびかけが送付される予定だ。



(左) 農家の西原さん夫妻とNPO阿蘇代表の加藤さん(右端)(右) 稲刈り

上智大学ソフィア会主催「Net de Asie」の、「不安な時代をどう生きるか」をテーマに語られた東西2人の神父による珠玉の対談に、約3万字の書き下ろしを加えた現代へのメッセージ。キリスト新聞社発行 価格1200円+税



☆希望する力 コロナ時代を生きるあなたへ 晴佐久昌英、片柳弘史 著

2018年から2019年にかけて行われた、「十戒」「主の祈り」をテーマとした連続講話を収録。十戒は神との対話、隷属からの解放である自由への道だと説き、キリスト者の祈りは「アッパ」の一言を心に抱くだけで深められるのだと教える。愛である神と人間の関係についてのカテゴリー。カトリック中央協議会出版部発行 価格800円+税



☆十戒・主の祈り——教皇講話集 編訳者/カトリック中央協議会事務局



不動産全般/売買・賃貸・管理
なんでもお問い合わせください
(株)ジャパン・スマイルか
代表取締役 マルガリタ・マリア 吉田由利子
〒810-0044福岡市中央区六本松4丁目9番4号
TEL 092-761-8800
http://www.iruka-japan.com/

FPC 福岡プライマリケア訪問看護ステーション
自宅で療養されている方、在宅で看取りたい方、精神障害の方など、病気について、介護方法について専門的指導や援助が必要な方はご相談ください。費用は医療、介護保険でのご利用になります。
春日市天神山 7-91 TEL&FAX 092-517-6313
福岡プライマリケア株式会社 代表:エリザベト熊谷

総合建築業
・一般住宅(新築・改築工事)
・鉄骨工事
・RC工事
建築の事なら何でもお気軽にご相談ください
森山工務店
ヨゼフ 森山新太郎
福岡市早良区四箇1丁目15番28号
☎(092) 811-7265

本との出会い 人との出会い 神との出会い
セント・ポール FUKUOKA
キリスト教書籍・信信用具・ビデオ・DVD・CD
福岡市中央区大名 2-7-7 大名町カトリック教会1F
平日/AM10時30分~PM5時
日曜/AM11時~PM2時(定休日 水曜・祝日)
TEL 092(741)4588 FAX 092(741)4601
URL:http://www.pauline.or.jp

熊本地区カトリック女性の会 ロザリオの祈りで世界とつながる

昨年まで熊本地区内では人吉、手取、八代教会が参加していた「世界の司祭のための祈り」を熊本地区内で広く呼びかけ、今年は地区内の14教会すべて(巡回教会は除く)が参加した。この祈りは20年前にアイルランドで始まったものだ。

迎えた。2020年6月19日、世界のロザリオレーの輪の中に熊本の教会が繋がった。午前10時15分、インドからのリレーを手取教会が受け、手取教会から2つのコースで始めた。2つのコースの祈りのリレーは、最終、天草の大江教会に11時45分集合、最後の「光の玄義」で締めくくりタイへとつながれた。

各教会の祭壇に花とロウソク(司祭のシンボル)が飾られ、信者たちは心をこめてロザリオを手繰った。司祭の生涯をかけての司牧、愛と献身へ感謝し、目には見えないが確かなものに繋がったと実感するひと時となった。各地でのロザリオ終了後、

ベネディクト16世の司祭のための祈りとなえた。参加者からは「教会で神父様方のために皆と一緒に祈る。この事に感動し涙があふれた。世界に繋がれたことにも感動した」「参加しないと言っていた信徒さんも庭に咲いた花を沢山抱えて来て、祭壇に飾り、神父様方への感謝のうちに一緒に祈りが出来た」などの感想が聞かれた。



熊本地区 14 教会で順番にロザリオの祈りが捧げられた。(左) 菊池教会(菊池市) (右) 本渡教会(天草市)

福島家族支援 博多にきんしやくい 「コロナの中でも届けるエール」

「福島家族支援 博多にきんしやくい」は9年目を迎える。この方向性を再確認し、合った矢先に、世界中を揺るがす新型コロナウイルス感染症が驚異的に拡大し始めた。自粛要請される中、教会も「人の命を最優先する」ことでミサや集会が中止となった。

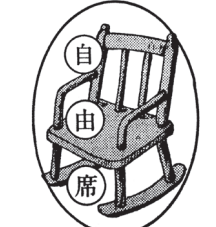
交流家族からの返信を一部紹介する。

◆みなさんからのお手紙、ラーメンありがとうございませう。いつもはげましてくれてうれしいです。

◆受け入れられることで心が満たされ、元気になるという実感をほめてくれました。

◆ずっと、ずっと忘れません。また会える日を楽しみにしています。

(報告)実行委員 平野道子



◆原稿は4000字程度
◆投稿先: 福岡カトリック司教区 教区報係宛
FAX 092-523-2152
メール cdf-kouhou@nifty.com
皆さんの声をお待ちしております。

とても優しい御父
西新教会 内藤さとみ

8月7日、笹丘教会で「慈しみ深い御父を讃える集い」(ミサ司式)遠山満神父/聖アウグスチノ修道会)が開催された。笹丘教会の集まりがあるのは7回目。事前にアベイヤ司教の許可も受けた。御父への信心はイタリア人シスターのマザー・ウージェニア(1907-1990)が1932年に御父からの呼びかけを受け、多くの困難と障害を乗り越えて1988年、教会の認可を受け「キリストにおいて御父と一致する」活動をする修道会を創立した。私はこの集まりに参加し御父への祈りを唱えるようになり、今までもピンと来なかった御父の愛を知り、御父への愛情が芽生え始め、「天の父」と呼ぶ時に深い喜びを感じるようになった。それと同時にイエスがどれほど御父を愛し大切に思っておられるかを黙想するようになった。「わたしの父はその人を愛され、父とわたしとはその人のところに行き一緒に住む」(ヨハネ14章23節)のみ言葉に表されるように。

最後に、マザー・ウージェニアに託された御父からのメッセージを抜粋したい。「何ものも恐れてはならない。努力して働くあなたを父である私は助ける。あなたが何が必要かを私に打ち明けてくれたら、どんなにうれしいことだろう。私はあなたが思っているような恐ろしい父ではなく、とても優しい父なのである。」

年間目標

信じる喜びから
伝える喜びへ

神学院祭 2020 YouTube 生配信で開催！



このたび、YouTube 生配信による「神学院祭 2020」の開催が決定しました！詳しくは「神学院祭 2020 特設サイト」をチェックしてください。

<http://www.singakuinsai2020.com/>

Facebook と Instagram アカウントも開設しておりますのでよろしくお願いします。コロナ禍のなかで、今年は YouTube 生配信による開催となりますがどうぞよろしくお願いします。

行事中止のご案内

10月 4日(日) エキュメニズム講演会(大名町教会)
12月12日(土) 福岡市民クリスマス

核なき世界基金 ワンコインで連帯
被爆 75 年から 5 年間のチャレンジ

長崎大司教区の高見三明大司教や広島教区の白浜満司教が運営委員として加わる「核なき世界基金」が設立されました。設立の趣旨や支援方法については下記ホームページでご確認ください。

<https://nuclear-free.net/>

～すべてのいのちを守るため～

『こうのとりのゆりかご』 支援のお願い

教区本部事務局より、各小教区、修道院、カトリック教育機関に「こうのとりのゆりかごだより」をお送りしております。熊本にある慈恵病院はカトリックの愛と献身の精神により、またすべてのいのちを守るという観点から病院内に『こうのとりのゆりかご』を2007年に開設し、これまでに多くのいのちを守ってきました。それらの趣旨をご理解いただき、またお送りしている「こうのとりのゆりかごだより」をご覧いただき、ご支援のご協力をお願いいたします。

『こうのとりのゆりかご』については下記ホームページでもご覧いただけます。

<http://jikei-hp.or.jp/cradle-of-the-stork/>

福岡教区広報室アドレス

<http://fukuoka.catholic.jp>

E-mail: cdf-kouhou@nifty.com

案内板

会合と催し

10月のこよみ

福岡黙想の家ご案内 10・11月

◆感染症の状況によっては集いが中止となる場合もありますので、お問合せ下さい。

10月 3日(土) ロザリオの会
4日(日)～10日(土) 聖マリア在俗会
7日(水)～8日(木) 個人黙想
13日(火)～15日(木) オプレート会
25日(日)～31日(土) 聖アウグスチノ修道会
11月 7日(土) ロザリオの会
20日(金)～23日(月) 日本心身医学協会
30日(月)～12月4日(金) コンベンツァル聖フランシスコ修道会

※お電話またはメールでお問合せください。

*宗像市名残1056-1 ☎0940・32・3222 FAX 0940・32・3385

Email: f-mokuso@fmokuso.com

真命山諸宗教対話センター - 祈りの集い -

年間テーマ：「祈り」最高の神秘体験として
ご聖体の秘跡を戴いてキリストと出会う
日 時：10月8日(木) 10時～15時
内 容：「キリストの現存」信仰のしるしである御聖櫃の美術
指 導 者：S. フランコ神父(聖ザベリオ宣教会)
問合わせ先：真命山諸宗教対話センター
次 回：11月12日(木)「死に勝たれた救い主の勝利」
☎0968・85・3100 FAX 0968・85・3186
熊本県玉名郡和水町蛸浦1391-7・E-mail shinmeizan@gmail.com

10月 4日 聖ペトロ使徒座への献金

10月18日 世界宣教の日(献金)

教皇フランシスコのことば

「現在わたしたちを取り囲む自然は、敬われることなく食い尽くされています。無数の無用なものごとに惑わされないために、観想することを見直さなければなりません。こころが病まないためにも、立ち止まって沈黙する時間を持たなければならないのです。」(9月17日、ツイッター)

「ゆるしといつくしみがわたしたちの生き方の基になっていたら、どれほどの苦しみと痛み、そしてどれほど多くの戦争が避けられたでしょう。」(9月13日、お告げの祈り)

「敵も含むすべての人を愛するのは難しいことです。一種の技術とさえ言えるかもしれません。けれども、技術であれば習得もでき、磨いてもいけるのです。私たちを笑り豊かにし、自由にする真の愛はいつも外へ向かい、そして誰をも迎え入れるものです。大切にし、いやし、善を行うものなのです。」(9月9日、一般謁見)

【10月】
1日(木) 聖テレジア(幼いイエスの)おとめ教会博士
2日(金) 守護の天使
3日(土) 馬渡島教会司牧訪問(～4日)
4日(日) 年間第27主日 聖ペトロ使徒座への献金
6日(火) †C. ガッツルディ(2016年 伊万里教会)
†イ・スンヒョン(2018年 水巻教会)
7日(水) ロザリオの聖母
†J. ノーリス(2007年 八代教会)
†J. ニドハム(2004年 熊本マリスト)
†K. オマホニ(2003年 荒尾教会)
†E. ハトリック(2007年 笹丘教会)
10日(土) 年間第28主日 鹿島教会司牧訪問
14日(水) オプレート会黙想会
15日(木) 聖テレジア(イエスの)おとめ教会博士
16日(金) †フランソワ徳山登(2000年 門司港教会)
17日(土) 聖イグナチオ(アンチオケ)司教殉教者
18日(日) 年間第29主日 世界宣教の日(献金)
古賀教会堅信式
25日(日) 年間第30主日 武雄・多久教会司牧訪問
26日(月) †S. ライル(2012年 ファミリーセンター)
27日(火) †H. キニユ(2004年 天神町教会)
28日(水) 聖シモン・聖ユダ使徒
29日(木) †T. アクイナス大木章次郎(2015年 伊万里トラピスト)
31日(土) 人吉教会司牧訪問(～1日)

【11月】
1日(日) 諸聖人(年間第31週)
2日(月) 死者の日
3日(火) 神学院祭(YouTube配信)
†J.C. ヴィルヌーブ(2012年)
4日(月) 聖カロロ・ボロメオ司教

■ゴチックは司教日程

九州豪雨、台風 9・10 号被災支援金申請

7月の九州豪雨の被災者及び施設への支援金の申請申し込みを受け付けています。ご遠慮なさらず申請されますよう、互いの声掛けをお願いいたします。カトリック信徒でなくても、身近な人々のうちに被害を受けた人がいれば小教区を通して義援金を申請できるよう、信者の方々は連携をお願いいたします。できるだけ支援が届けられるように対応いたします。

また、台風9・10号についても、支援を必要とされる方がいればご連絡ください。

申請書は九州豪雨支援特設サイトからダウンロードできます。または、小教区にお尋ねください。

特設サイト：<http://fukuoka.catholic.jp/>

「2020年7月九州豪雨災害支援」をクリック

メール：fukuokakyoku.sien@gmail.com

支援室窓口 ☎080・1761・4150 (平日9～17時)

集いの案内
について

掲載依頼のあった集いのみ、掲載しております。感染症の状況によっては開催が中止となる場合があります。

福岡

■虹の会(子どもを亡くした親の会)〔日時〕10月3日(土) 14時～16時〔場所〕サンパウロ福岡宣教センター13階〔参加費〕500円(茶菓子代)〔問合せ先〕☎090・1162・6395 柴田 ※子どもを亡くした関係のあるかただけでなく、マスク着用
■震災のための祈りのリレー〔日時〕10月11日(日) ミサ11時から夕の祈り(テゼの祈り)17時から〔場所〕カトリック小郡教会〔問合せ先〕☎070・2820・9613 Br. 阿部(パウロ会)
■「キリストは生きている」青年オンライン分かち合い〔日時〕10月25日(日) 15時～16時40分頃〔場所〕Zoom(インターネット上のテレビ会議)〔内容〕「キリストは生きている」第3章(対象)18歳～30代の青年〔問合せ先〕安藤 maris_stella@me.com
■福岡ホスピスの会 がん哲学外来理事長樋野興夫先生との座談交流会〔日時〕10月25日(日) 13時～15時半〔場所〕サンパウロ福岡宣教センター13階〔参加費〕1000円(30人限定、どなたでも参加可)〔問合せ先〕☎090・1162・6395 柴田 ※マスク着用
■自死された方々のための追悼ミサ〔日時〕11月7日(土) 14時～15時〔場所〕大濠カトリック会館(司式)青木悟神父(主催)福岡ゆりの会〔問合せ先〕☎090・8410・8927 叶堂(かなどう) ※身近な人を自死で失われた一人で重荷を負われている方、ぜひご参加ください。当日参列

北九州

■北九州召命を共に祈る会〔日時〕10月8日(木) 14時から〔場所〕小倉教会〔内容〕ミサ〔問合せ先〕☎0949・24・9905 藤井

司祭人事

◆ルーカス・レック師(ブルックリン教区/司祭の家・日本語研修中)西新教会で日曜日の司牧のお手伝い 9月1日付

教区報の年間購読

新規購読申込を随時受け付けています。どなたかにお送りしたい気持ちもお届けできます。購読に関する問合せは教区広報室まで。メール cdf_kouhou@nifty.com または ☎092・522・4059

日本カトリック正義と平和協議会オンラインシンポジウム
「戦後75年と憲法」動画記録のご案内

9月19日、Zoomにて行われた、オンラインシンポジウム「戦後75年と憲法」の動画記録がYouTubeにアップされています。詳細は下記ウェブサイトより。

<https://www.jccjp.org/archives/1778.html>

発題1：松浦悟郎司教「カトリック教会の戦後と憲法問題についての立ち位置」／発題2：中野晃一さん「日本の戦後75年、これからの日本のゆくえ」／発題3：安田菜津紀さん「ジャーナリストとしての体験からみえてきた戦後75年」

編集後記

コロナで世界が呻く今、「神の愛から生まれ、愛のうちに成長し、愛に向かう」私の歩みを観想し、生きたい。(C)

人と人の絆を大切に・ご葬儀のご相談は
メモリードホーム

薬院・油山・野芥・小田部・今宿
馬出・南福岡・大野城・飯塚

市民葬儀・法事相談センター

六本松店・赤坂店 [福岡メモリード\(検索\)](#)

☎0120-45-1616

社会医療法人 雪の聖母会



聖マリア病院
〒830-8543 福岡県久留米市津福本町422
TEL.0942(35)3322 FAX.0942(34)3115

聖マリアヘルスケアセンター
〒830-0047 福岡県久留米市津福本町448番5
TEL.0942(35)5522 FAX.0942(34)3306

信仰や理念を共有できる医師、看護師の皆さん
と一緒に働いてみませんか

URL: <http://www.st-mary-med.or.jp/>

福岡教区セクハラ対応窓口

セクハラを受けたら、見かけたら、ご相談ください。ひとりで悩まず、早めに相談

セクシュアル・ハラスメント相談窓口

電話 080-2694-4182

受付時間 月～金(祝日を除く)

10:00～12:00 13:00～16:00

キリスト教書籍・用品
お買い物は365日、24時間 いつでもどうぞ！

<http://www.paulus.jp>

パウルスショップ

メディアによる福音宣教のために・・・



サンパウロ福岡宣教センター

10:00～18:00(月～土)／日・祝日休業／地下鉄赤坂駅より徒歩3分※駐車場完備
〒810-0042 福岡市中央区赤坂1-14-26 ☎092-721-2032 fax.739-3930